通夜ふるまいの前

例①）喪主が妻の場合

本日は、ご多用にもかかわらず亡き○○のために、お通夜のご焼香を賜りまして誠にありがとうございます。○○もこのように皆様に見守られまして、喜んでいてくれることと思います。故人の在りし日のことなどお聞かせいただければと思い、別室に粗茶などを用意いたしました。

どうか今しばらくおつきあいいただければ幸いです。なお明日の葬儀は○時からとなっておりますので、よろしくお願いいたします。今日は誠にありがとうございました。